

あゆみ年表 ～ 平成19年 ～

19. 2. 25 巡視艇えぞぎく解役

巡視艇「えぞぎく」が老朽化により2月25日に解役となり、同日解役式を執り行った。同船は昭和55年に就役してから、大韓航空機撃墜事件、ロシア籍貨物船座礁事件など104件の海難事故に出動し9隻35名を救助した。



19. 3. 2 巡視艇きたかぜ就役

巡視艇「えぞぎく」の代替船として、土佐清水海上保安署の巡視艇「とさつばき」が船名変更し巡視艇「きたかぜ」となり、稚内海上保安部に配属替えとなった。



19. 4. 1 交通課発足

海上保安庁では、港長業務、海難防止に関する業務、航路標識に関する業務、船舶交通の安全に必要な情報提供業務を一元・効率化するため、航行援助センターを交通課に改組した。

19. 4. 13 外国船から大麻発見

稚内港に入港したベリーズ国籍貨物船 A 号（165トン）の立入検査を実施したところ、乗組員の着衣から大麻約1gを発見。着衣の所有者であるロシア人1名を現行犯逮捕した。



19. 7. 16 夏の港内を鮮やかに飾る巡視船れぶんによるイルミネーション

「海の日」の一環として、多くの市民に稚内の夏の夜を楽しんでもらうため、巡視船れぶんの船体に電球を飾るイルミネーションを行った。



19. 10. 28 海上保安庁音楽隊「風の町てっぺんコンサート」開催

海上保安協会稚内支部は、稚内海上保安部、稚内市等の協力により、宗谷地方における文化的事業の活性化と青少年の豊かな情操を育むことを目的とし、海上保安庁音楽隊による「風の町てっぺんコンサート」を開催した。同音楽隊の単独コンサートは、道内で初めてであった。

